

あすなろ

静岡県伊豆市小下田 2492 駿豆学園 令和6年9月30日 243号
TEL0558-99-0248・FAX99-0258



脚下照顧

園長 天良 昭彦

令和六年夏が過ぎようとしてい
ます。今夏の暑さも昨年以上に尋常で
なく過去最高の酷暑で、エアコンの
フル稼働が当たり前になっていまし
た。そんな夏でしたが利用者の皆さ
んは熱中症等大きく体調を崩すこと
なく夏を乗り切ってくれました。

かつて、私が入職した児童施設当
時は四人部屋の雑魚寝状態で、宿直
勤務では、入所児童の枕元に横にな
り仮眠をとりました。部屋には扇風
機すらありませんでしたが、窓から
入る海風で夏でも十分睡眠がとれた
ものです。その後、壁掛けの扇風機
が全居室に設置されたものの、エア
コンがあつたのは保健室のみでした。
今ではとても考えられず、日本の気
候が大きく変化していることは間違
いありません。ある保育園では酷暑
対策として本来夏に開催すべきイベ
ントを秋口に変更しているという話
も耳にします。各種事業の実施にあ
たり、気象ばかりでなくこれまでの
定型的な概念は通用しない可能性を
常に念頭に置き、しっかりと現状と
向き合う必要性を感じています。

先日、旅先で訪ねたお寺で「脚下
照顧（きゃっつかしようにこ）」という
言葉を久しぶりに目にし、懐かし
く思いました。私のような凡人が語る
のは大変恐縮ですが「脚下照顧」は

もともと仏教用語とのこと。「脚下」
とは足元のこと「照顧」とは照らし
顧みる、つまり自分自身をしっかり
と顧みる。行いを反省して顧みるこ
とを意味しています。「我が身を振
り返りなさい」という言葉です。

実は、私がまだ二十代の頃に恩師
から授けられた言葉でもあります。
若さに任せ、夢を語っては自己満足
していた私に、遠くを見るのもいい
が、同時にしっかりと足元を見るこ
とがとても大切だと、戒めとして授
げかけられました。

物事が思うように進まない、そ
の理由を自分以外の要因に求めるこ
とがよくあります。逆に、上手に進
んでいるときには調子に乗ってしま
い、思いもよらず足元をすくわれた
りします。そんなときにこそ自らを
顧みることが必要です。

四十年ほど前に恩師から授けられ
た「脚下照顧」の精神を忘れず、地
に足がついた着実な歩みと、様々な
変化にも柔軟に対応できる施設運営
を心掛けたいと思います。

夏を楽しむ

支援課長 木村 悦治

六月の運動会、今年度はボラン
ティア、来賓の皆様、そしてご家族
の方が参加し行われました。昨年も
ご家族参加での計画になっていまし
たが、悪天候により中止となってい
まい、ようやくコロナ禍以前の形に
戻ることができ、家族とのふれあい
と沢山の応援で盛り上がり、利用者
の皆さんもとても嬉しそうで、張り
きって競技に参加をしました。

七月に入りいよいよ夏本番、日に
日に暑さが増していく中で、暑さに
負けず活動を行っています。リフ
レッシュツアーは五グループに編成
し、前半は日帰りコースで掛川花鳥
園と富士サファリパークの組に分か
れて、ドライブや食事、観光を楽し
みました。また、宿泊コースは河口
湖のコテージに宿泊しバーベキュー
や湖畔を散策するなど、いつもと違
う風景を見ながらリフレッシュする
ことができたと思います。涼しく
なった秋口には後半のグループが行
く予定となっております、楽しい企画に
していきたいです。

地域交流とし土肥地区の小中高校

生、こども園、福祉施設の利用者が
集まり、レクリエーション等を楽し
む、大キンプファイヤーに参加をし
地域の方々と交流を深めることが
できました。

そして夏と言えば海、海水浴には
六名の利用者が参加をしました。年
齢も上がり暑さもあり、参加できる
利用者は少なくなっていますが、堤防
からの飛び込みや、素潜りを楽しむ
利用者さんもいて、目の前の海で楽
しんでいる様子が見られました。

おやつクラブでは恒例のかき水が
行われました。暑い夏には水が最高
です。みんなでの暑い夏をしのぐ
のではなく楽しみながら過ごせるよ
う支援をしています。

本年度は三年毎に行われる障害支
援区分認定調査の年にあたり、各市
町より調査員の方が来園し行われ
ています。三年前と比べるとやはり日
常動作等の低下がみられる方が多く
なっています。いかに現状を維持し
ていくかが課題となりますが、元氣
に過ごしていく為には、楽しいこと、
楽しむことが大切だと思います。利
用者の皆さんの意向を踏まえ、楽し
く充実した活気のある生活が送れる
よう、様々な事に取り組んでいき
たいと思います。





掛川花鳥園
kakegawakachouen
令和 6年7月9日
リフレッシュツアー



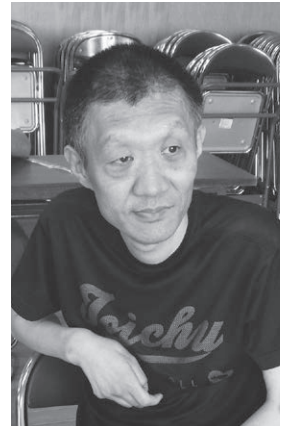


夏の思い出
夏の思い出



**大キャンプ
ファイヤー**





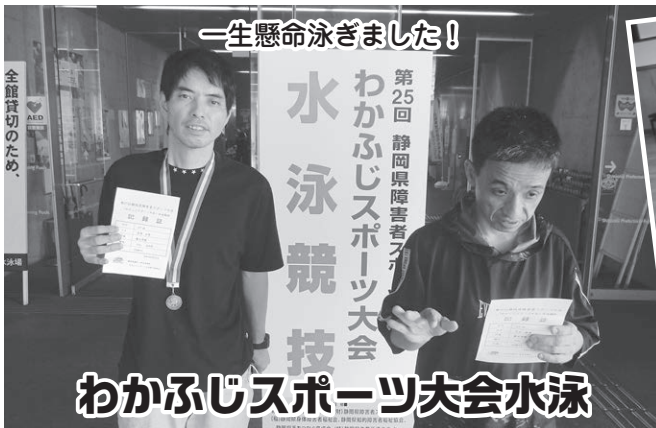
渡辺茂さんを偲んで

生活支援員 土屋 智也

六月十六日に天国へ旅立たれました。あまりに突然な訃報に職員一同信じられない気持ちでいっぱいでした。

私が就職した当時、茂さんはあおぞらAグループの先頭を歩く元気のいい利用者の方というのがとても印象に残っています。また、茂さんは普段からよく笑顔を見せ、食事が大好きな方でした。外出中のおやつや誕生会のケーキなど美味しそうに食べておりました。特に行事の模擬店での食事は、ご家族と共に過ごし普段以上にとても美味しそうに食べていた姿が思い出されます。

渡辺茂さん、たくさんの思い出を本当にありがとうございました。どうか安らかに眠り下さい。



一生懸命泳ぎました！

わかふじスポーツ大会水泳



ぞうきんを縫って頂きました。

日赤奉仕団 土肥分団様



たくさん寄付して頂きました。

(株)グランバー東京ラスク
大川報恩会様



花の苗を頂きました。

伊豆市花の会 土肥支部様

ふれあい広場

―善意を寄せられた方々―

- 伊豆市花の会 土肥支部様
 - JAふじ伊豆プロパンガスセンター様
 - (株)グランバー東京ラスク大川報恩会様
 - セブンイレブン伊豆市土肥店様
 - 新田 共栄様
 - 佐藤 理様
 - ―奉仕をされた方々―
 - 日赤奉仕団 土肥分団様
 - 土肥小中一貫校有志の皆様
 - 伊豆総合高校土肥分校有志の皆様
 - 金刺 甚一郎様
- 皆様のご厚意に御礼申し上げます

【お知らせ】

面会を希望の方は、事前に電話にてご確認ください。パソコン等を利用したりモトでの面会も実施しております。駿豆学園ホームページでもあすなろを閲覧出来るようになっていきます。

アドレスは

www.sunzugakuen.jp/ になります。

ぜひ御覧ください。

編集後記

暑い暑い夏を乗り越え、涼しい季節がやってきます。季節の変わり目で体調を崩さないように過ごしていきたいと思えます。